



ポローニアは県花「桐」の学名です。

第56号

2026-7

令和8年7月3日発行

発行／岩手県高等学校PTA連合会

【事務局】盛岡市上田三丁目2-1 TEL(019)625-6386
E-mail iwa-koupren@aroma.ocn.ne.jp FAX(019)613-7795

令和8年度県高P連 定期総会・研究協議会開催



▲岡崎新会長挨拶

令和8年度の岩手県高等学校PTA連合会(以下、県高P連)定期総会並びに研究

協議会は、6月3日にサンセール盛岡にて開催されました。県内62校から237名が出席し、来賓として、岩手県教育委員会生涯学習文化財課の藤井茂樹生涯学習総括課長や、岩手県高等学校校長協会の中村智和会長、一般社団法人岩手県PTA連合会の福田育英副会長、岩手県教育委員会生涯学習文化財課の浅沼公紀主任社会教育主事、岩手県高等学校教職員組合の藤澤大副執行委員長にお越しいただきました。



▲岩手県教育委員会生涯学習文化財課藤井茂樹総括課長



▲木村前会長へ感謝状贈呈

今年度の個人表彰は93名に贈られたほか、令和7年度県高P連第30回広報誌コンクールにおいては、



▲岩手県高等学校長協会中村智和会長

最優秀賞を受賞した水沢商業高校をはじめ、平館高校や花北青雲高校など計10校が入賞しました。受賞者および受賞校を代表して、黒沢尻北高校の太田宣前PTA会長は「こうして表彰していただき、感謝に堪えません。私は高P連を離れますが、子どもたちが思い描いた道を応援できる大人でありたいと思いますので、皆様も高校生を応援してまいりましょう」と謝辞を述べました。

議事では、今年度の県高P連会長に盛岡第一高校の岡崎希裕氏が推薦され、賛成多数で承認されました。岡崎新会長は、時代の流れの速さや価値観の多様化などについて触れ、「そうした中でもPTAは、子どもたちの健全な育成のために、親と先生方の協力が必要です。各校の事情に合わせて、柔軟に対応しながら活動を進めていただきたいと思います」と語りました。

その後、岡崎新会長から木村元思前会長へ感謝状を贈呈。木村前会長は「二年間、会長として活動できたこと、そして高P連がなければ出会えなかった方々と関わったことは、皆様のおかげだと思っています。改めて感謝いたします」と述べました。なお、県高P連を事務局長として支え続け、勇退した佐藤尚氏にも感謝状が贈られました。

総会後の研究協議会では、岩手県盛岡東警察署生活安全課の大越剛課長代理兼係長が登壇。「ネットに潜む危険を知ろう」と題し、子どもたちを取り巻くインターネットを介した犯罪について解説しました。



近年は、アカウソの乗っ取りやSNSを通じた連れ去り、性犯罪など、子どもたちが犯罪に巻き込まれるケースが増えています。また、「普通のアルバイトだ」と思って応募したら闇バイトだった」という例もあり、大越氏は「内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)が発行している『インターネットの安全・安心ハンドブック』を参照したり、子どものスマートフォンで国際電話が受けられないようにしたりするなど対策が必要です」と注意を呼びかけました。

定期総会後は教育懇談会が行われ、参加者は互いに交流を深めながら有意義な時間を過ごしました。

葛巻町は、「北緯40度 ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち」として知られています。町で作られたチーズ「カチヨカバロ」が2024国際チーズコンテストで金賞を受賞したほか、ワインも世界的なコンクールで数々の賞を獲得。風力発電やバイオガス発電にも力を入れ、町内の電力自給率は360%を誇ります。



講演 鈴木 重男氏
(葛巻町・町長)

〈講演〉
夢しか実現するものはない

また、同町では保育料の完全無料化や山村留学制度をいち早く導入するなど、子育てや教育面にも注力しています。しかし、すべてが最初から順風満帆だったわけではありません。歴代の町長や鈴木町長の「将来、町にとつて必要なことを実行する。それが町長の役割だ」という確固たる信念のもと、一つずつ実現させていきました。

実現すべきことは、「夢」から始まる。実体験を交えて語る鈴木町長の言葉に、参加者は熱心に聞き入っていました。

岩手県学生会館



@東京都豊島区
万全のセキュリティ
おいしいごはん
初めての東京ライフ



●アクセス
JR池袋駅から15分
東京有楽町線・副都心線
要町駅から5分
西武池袋線椎名町駅から10分



住田高校は、少人数ならではのきめ細やかな教育と、地域未来留学制度を活用し、全国から生徒を受け入れている学校です。今年度PTA会長を務めるにあたり、学校と家庭、地域とのつながりを大切しながら、生徒



岩手県立住田高等学校
PTA会長
金野 貴博

伝統に新たな彩りを 住田高校とともに歩むPTA



今年度の球技大会では、日頃お世話になっているファミリーマート宮守インター店様のご協力のもと、ファミチキとアイスを生徒たちに提供し、大変喜ばれました。また、文化祭では毎年PTAとし

の魅力をさらに高めていきたいと思っています。

私たちの充実した学校生活を支えていきたいと考えています。私が会長を務めるからには、生徒や先生方、保護者の皆さまと一丸となり、これまで受け継がれてきた伝統を大切にしながら、新たな挑戦を積み重ね、住田高校

令和7年度岩手県高等学校PTA連合会 第30回広報紙コンクール入賞校

◆最優秀賞(1校)

水 沢 商 業 水商PTA 第100号
《東北地区コンクール奨励賞》

◆優秀賞(2校)

平 舘 PTA会報 No.76
《東北地区コンクール優良賞》

花 北 青 雲 花北青雲PTA会報 第108号
《東北地区コンクール最優秀賞》

◆優良賞(5校)

盛 岡 第 二 盛岡二高PTA通信令和6年度第2号

盛 岡 商 業 PTA会報令和7年度第2号)

花 巻 南 みなみ風 花巻南高PTA会報150号

一 関 第 一 温故知新 No.160

釜 石 商 工 釜石商工PTA会報 No.33

◆特別賞(2校)

南昌みらい PTA会報 vol.01

久 慈 翔 北 PTA会報 創刊号

◇最優秀賞・優秀賞：令和7年度東北地区広報紙コンクールへ推薦

求めよさらば与えられん

保険金のお受け取りには申請が必要です

(一社)全国高P連賠償責任補償制度

発足後 25 年目
岩手県 63 校 20,167 人

岩手県高P連高校生総合保障制度

令和8年5月12日現在 1,931人
●Aプラン 61校 988人
●Bプラン 57校 440人
●Cプラン 58校 503人

て焼きそばとフランクフルトを販売しています。ちなみに私は体育館で生徒たちの発表を支える音響係を担当しているため、出店には参加しているものの、調理の腕前を披露する機会はありません。今年度は入学者数が少ない状況ではありますが、住田町と連携しながら住田高校の魅力発信に取り組み、より多くの皆さまに本校の良さを知っていただけるよう努めてまいります。

このたび、岩手県高等学校PTA連合会会長を拝命いたしました岡崎希裕と申します。歴史と伝統ある本連合会の重責を担うこととなり、その使命の重さを強く受け止めております。微力ではございますが、子どもたちの健全育成のため、全力で職責を果たしてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

PTAの目的は、子どもたちの健やかな成長を支えることにあります。この原点は時代が変わっても揺らぐものではありません。一方で、少子化や価値観の多様化、情報化の進展により、保護者や学校を取り巻く環境は大きく変化しており、活動や組織の見直しが求められています。

近年、自然災害や感染症の流行など、子どもたちの生活が脅かされる事態も生じています。このような有事において、学校のみでの対応には限界があり、保護者や地域との連携が一層重要です。PTAは学校・家庭・地域を結ぶ基盤として、有事に機能する組織でもあります。

PTAの在り方については、さまざまな意見があることも承知しております。そうした声にも耳を傾けつつ、時代に応じた見直しを進める必要があります。その上で、学校と家庭をつなぐ基盤としての役割や子どもたちを支える意義は大きいものと考えております。

結びに、日頃よりPTA活動にご尽力いただいている皆様に深く感謝申し上げます。不易流行の精神のもと、守るべき本質は守り、変えるべきものは見直ししながら、子どもたちの未来のために全力で取り組んでまいります。



不易流行
— 子どもたちを支えるために —

岩手県高P連会長
岡崎 希裕

おらほのPTA

こどもたちのために

岩手県立花泉高等学校
PTA会長

佐藤 賢

登校時の声掛け運動では、朝の忙しい時間帯にも関わらず日替わりで沢山の会員の方に参加して頂きました。子供達が良い意味で照れくさそうに挨拶をしている姿がとても印象的でした。環境整備活動では、健全育成委員会

花泉高等学校は、岩手の最南端に位置する学校です。昭和二十三年四月に一関第一高等学校の分校として開校し、来年度で創立八十年を迎えます。今年度は、二十八名を迎えて全校生徒九十四名でのスタートとなりました。小規模校ではありますが、良い点として、先生方が生徒一人ひとりに対して親身に、そして丁寧に指導して頂き、生徒も生き生きと学校生活を送っています。また、地域の方々と交流も活発で通常の勉強以外のことも学べる環境になっております。先生方、地域の方々には本当に感謝申し上げます。



▲PTA声かけ運動



▲PTA餅まき



▲環境整備活動

「家庭和熟」を合い言葉に！

岩手県立盛岡北高等学校
PTA会長

大石 園

盛岡北高等学校は昭和49年に開校し、一昨年度50周年を迎え、記念式典では、第一期生の応援歌の披露を見ることができ、また、多くの卒業生の活躍も知ることができました。本校のPTAは、校訓「師弟和熟」と両輪を成すべき「家庭和熟」という言葉を大切に学校と力を合わせて活動を行っています。「家庭和熟」とは「家庭でも子どもと大人が互いにしつかりコミュニケーションを取り、互いに絆を深めること。」として受け継いでおります。

ここで、本校の主なPTA活動を紹介いたします。学園祭では、PTA企画として受験にむかう3年生を中心に子どもたちへの応援メッセージを書いていただいています。昨年度は400枚のメッセージカードと校章入りのクッキーを用意し、学園祭の終了時にはすべて配り終わりました。その多くの方々のメッセージを共通テスト100日前には生徒昇降口に貼りだし、「言葉の花道」と称し、子どもたちに届けました。またPTA情報誌の発行、登校時一声運動等も行っております。今現在、私たちはコロナ禍で止まったPTA研修旅行の復活を、多くの役員の方々の意見を伺いながら、模索しております。



▲R7年度PTA企画「言葉の花道」昇降口にて



▲R7年度PTA企画「盛北祭」に参加



▲創立50周年記念式典

「熟」を合い言葉に、多くの方を巻き込み自身も楽しみながら、子どもたちを支え続けていけるように活動しております。



▲「盛北祭」に参加



▲「登校時一声運動」

を中心に昇降口にプランターを設置して花植えを実施しました。子供達の登下校に色鮮やかな景色を添えることが出来ました。花高祭への協力では飲料販売、餅まき等、楽しみながら子供達の行事を支えることが出来ました。最後に、花高PTA活動は「子供達の為に、出来る範囲での活動を！」を合い言葉に今年度も皆様のご協力を頂きながら活動して参ります。

編集後記

令和8年度1回目の「ポロニア」第56号をお届けいたしました。日頃より会員の皆さまには、県高P連の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、ご多忙の折にもかかわらずご寄稿くださいました皆さまに、心より感謝申し上げます。

各校におかれましても、新体制のもとでPTA活動が始まっていることとします。子どもたちが有意義で充実した学校生活を送ることができるよう、保護者、教職員、地域の皆さまと連携し、協力し合いながら活動を進めていければと願っております。

時代の変化が目まぐるしい現在、先を見通すのが難しい状況が続いています。戦争や疫病、自然災害、景気の先行き不安など、閉塞感を覚える日々ではあります。それでも子どもたちには明るい未来を手渡したい。その思いを胸に、大人が支え合いながら、子どもたち一人一人の歩みに寄り添い、温かく見守っていければ幸いです。

今後とも、県高P連の活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

岩手県立盛岡第三高等学校

PTA会長 貴志 章子

〈編集委員〉令和8年度調査広報委員会

委員長 新坂 正章 (南高みらい高校)
副委員長 貴志 章子 (盛岡第三高校)
委員 高橋 真悟 (西和賀高校)
吉田 潤 (金ヶ崎高校)
滝沢 敦子 (久慈翔北高校)
熊谷 昌史 (南高みらい高校)
金濱 千明 (県高P連)
木村 智子 (県高P連)

◇事務局

木村 智子 (県高P連)